

令和５年度 社会人教育全コース共通講義
シリーズテーマ：カーボンニュートラルを実現するテクノロジー

大阪大学ナノプログラム社会人教育において全コース共通の講義(全４回)の第１回（６月１４日（水）１８：００～）を下記内容で開催致します。

現在の所、吉田先生はオンライン、松尾先生は大阪大学豊中キャンパスでの講義を予定しております。
※講師の講義場所は変更となる場合がございます。

また、これらの講義は出席日数として算定されますので、厚生労働省の「人材開発支援助成金」、「専門実践教育支援助成金」を申請しておられる受講生はご注意ください。

６月１４日（水）の第１回目の講義について、**６月７日（水）**までに、大阪大学豊中キャンパス・四日市商工会議所でご受講の方のみご返信ください。尚、オンライン受講・ご欠席予定の方は返信不要です。

申し込み先：nano-program@insd.osaka-u.ac.jp

尚、第２～４回目の共通講義については改めてご案内いたします。

本共通講義はコンソーシアム会員企業所属の社員の方々もご聴講いただけますので、ご周知いただければ幸いに存じます。ご希望者は氏名、メールアドレス、受講方法を明記の上、上記申込先宛てにお申し込み下さい。

記

シリーズテーマ： 「カーボンニュートラルを実現するテクノロジー」

開講時間：令和５年６月１４日 １８時～２１時

受講方法：大阪大学豊中キャンパス（文理融合型研究棟３階セミナー室 ３０５号室）、四日市商工会議所、CiscoWebEXMeetingでの遠隔配信

第１回：２０２３年６月１４日（水）

前半（午後６時～７時３０分）

講演者：吉田 茂雄氏（佐賀大学海洋エネルギー研究センター・九州大学応用力学研究所・教授）

題目：「洋上風力発電の動向と展望」

概要：周囲を海に囲まれている我が国では、環境（温暖化）とエネルギー（国産化）の両立において、洋上風力発電が大きな期待を集めています。世界の状況に鑑みると、将来的には、我が国の電力の 20～30%を風力で担うことも予想されます。本講義では、風力発電に関する社会的・技術的動向、ならびに、課題等について解説し、我が国が取るべき方向性について提言します。

後半（午後 7 時半～9 時）

講演者：松尾 豊氏（名古屋大学大学院工学研究科・教授）

題 目：次世代太陽電池「カーボン系太陽電池」の開発を目指して

概 目：19 世紀は鉄の時代、20 世紀はシリコンの時代、21 世紀は炭素の時代と言われている。今世紀、持続可能な社会を構築するうえでエネルギー関連デバイスの研究がますます盛んになっている。そのようなデバイスでは、ナノカーボン材料等の炭素材料が活用されている。本講演ではカーボンナノチューブやフラーレンを活用した高耐久性の高い新しい有機系太陽電池や、その周辺の関連技術について紹介する。

以上